

## 株式会社 タルミ

明治29年創業の老舗  
伝統文化を守り、育んでいく、ものづくり



1 西鉄蒲池駅近くの県道沿いにある展示場。300点以上の商品が展示されている 2 本社工舎3階にある作業場。分業で行われており、7月は盆提灯製造の最盛期 3 平成26年に5代目社長として就任した佐野公紀さん 4 注文に応じ、一つ一つの提灯に、筆で家紋や文字を集中して描く

今回紹介する企業は、ひな人形や鯉のぼりなどの節句物や盆提灯の製造販売を行う、株式会社タルミです。  
明治29年、樽見久太郎氏が盆提灯や花ごぎの製造を行う樽見商店を創業。戦後になって鯉のぼりの製造も始め、事業を拡大します。昭和45年に西鉄蒲池駅前に展示場をオープン。高度経済成長期には、24時間体制で工場をフル回転しながら商品の製造をしていた時期もあったそうです。

**【企業情報】**

- 本社所在地 = 蒲生 970-6
- ☎ 72・5281
- 資本金 = 3300万円
- 代表取締役社長 = 佐野公紀
- 従業員 = 40人

現在は、羽子板やひな人形、鯉のぼりなどの節句物や盆提灯など、幅広い商品の製造卸メーカーとして成長しています。特に鯉のぼりについては、染め型を使って1色ずつ手作業で染色する「捺染」と呼ばれるプリントや裁断、縫製まで全て自社で行う九州唯一の企業で、「日本号」のブランドで売り出しています。昭和58年、依頼を受けて作った全長76mの鯉のぼりは、ジャンボジェット機よりも大きいと話題になったこともありました。

ン住まいの増加や仏間のある世帯の減少などにより、売れる商品は小形化し販売単価も減少しています。一方で、室内で簡単に飾れ、場所をとらない雛飾りや旗、飾り鯉などの需要が大きく伸びているんですよ」と話します。

### ●社長のひとこと

子どもの成長への願いや、先祖への感謝など、日本人の心を形にしたものを作れることに職員一同感謝しています。今の時代に受け入れられるような新しい商品を開発しながらも、伝統の技術もしっかり伝承していきたい。これからも頑張っていきます。

**【問】市商工・ブランド振興課 商工・企業誘致推進係**  
77・8762

広報やながわ

No.321 平成30年8月1日号

No.321  
8/1  
August  
2018

広報やながわ  
平成30年8月1日号

# 柳川

Public relations magazine of Yanagawa



昔話ボランティア「オルゴール」の協力で、広報紙を寄贈してCDやカセットテープに録音した「川の広がり」も発行しています。詳しくは、市企画課広報広聴係（☎77-8425）まで。

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1 ☎0944-73-8111  
●編集 総務部企画課広報広聴係（直通）☎0944-77-8425 FAX74-5520  
●URL <http://www.city.yanagawa.lukuoka.jp/> ●e-mail [kounho@city.yanagawa.lg.jp](mailto:kounho@city.yanagawa.lg.jp)  
●フェイスブック <https://www.facebook.com/yana> 5/5/2018 ※この広報紙は公式サイトで公開しています。

## 「柳ガーデン」で 花いっぱいこの沖端に

沖端水天宮周辺にある柳の木の根元のスペースに花を植える「柳ガーデン」の取り組みが、7月13日から始まりました。市の呼びかけに賛同した、柳の木の前にある喫茶店やうなぎ料理店、菓子店など19の店舗が、それぞれの「柳ガーデン」のオーナーに。水や肥料をやりながら、年間を通じて花の管理をします。

取り組みの初日は約20人が参加。市が用意したペンタスやトレニア、マツバボタンなど7種の花を丁寧に柳の根元に植えていきました。喫茶店を営む原栄美さん（31歳）は「たくさんのお客さんが訪れる沖端を、私たちの手で少しでも美しくしようと始めました。居心地のいい空間を作ること、観光客の皆さんに少しでも長く楽しんでいただこうと思います。みんなで頑張ります」と話しました。

問い合わせは、市都市計画課都市計画係（☎77・85552）まで。